

数学部会誌 $\alpha - \omega$ 原稿執筆要項

千葉県高等学校教育研究会数学部会編集委員会

部会誌は組版ソフト L^AT_EX により編集しております。電子データ等による原稿だと編集作業が容易となりますが、手書きによる原稿も受け付けております。なお、編集した原稿は Web ページに公開させていただきますので、ご了承下さい。

1. 原稿の書式

B5 版 縦 横書き

1 段組または 2 段組

上余白 20mm, 下余白 25mm, 左余白 20mm, 右余白 20mm

文字の大きさ 10 ポイント

[1 段組の場合] 42 文字 40 行

[2 段組の場合] 20 文字 40 行 中央 2 文字空ける

2. タイトルなどの表記

タイトル, 所属, 氏名を明記して下さい。(サブタイトルがあればサブタイトルも明記)

所属は勤務校名, 必要があれば研究会名等もつけて下さい。

(例) タイトル

(サブタイトル)

〇〇 高等学校 千葉 一郎

3. 見出しの書き方

章 1.

節 (1)

項 ア

目 (ア)

a

(a) の順とする。

4. 原稿の表記について

(1) 簡潔でわかりやすい表現として下さい。

(2) 句読点は「,」「。」とします。用語は原則として、教科書に準じたものをお使い下さい。

(3) 「です・ます調」または「である調」で統一して下さい。

(4) その他、昨年度までの部会誌を参考にして下さい。

5. 参考文献の表記について

(1) 雑誌

著者名 (訳者名), 「表題」, 雑誌名, 巻, 号, pp. をつけて始め-終りのページ, 月 (英語), 年.

(例) 山下純一, 「ケンブリッジの微笑み」, 数学セミナー, 第 36 巻, 第 4 号, pp.2-5, April, 1997.

(2) 著書, 編書

(編) 著者名, 書名, 発行所, 発行年.

(例) 加藤和也, 解決! フェルマーの最終定理, 日本評論社, 1995.

(3) 著書の一部を引用する場合

著者名, 書名, 編者名, 章番号または pp. をつけて始め-終りのページ, 発行所, 発行年 .

(例) 乙部 敏己+江口 庄英, pL^AT_EX 2_ε for WINDOWS Another Manual, pp.206-209, ソフトバンク, 1996.

6. 図・表について

- (1) 図・表はできるだけ自分で作成したものを使って下さい。
- (2) 図・表を他の著作物から引用する場合は著作権に留意して下さい。
- (3) 図・表には、番号及びキャプションをつけて下さい。
- (4) 番号は図 1, 図 2..., 表 1, 表 2... のように通し番号として下さい。
- (5) 図は別紙に書いて番号を記入して、原稿に同封して送って下さい。

7. 電子データ等による入稿の注意事項

(1) 電子データの入稿方法

ア データのバックアップは必ずお取り下さい。入稿していただいたデータは返却いたしません。また、記録メディアで入稿の場合にはタイトル、所属校名、著者名を書いて下さい。

イ データを圧縮するときは zip 形式等をお使い下さい。

ウ 電子メールで入稿する場合は、添付ファイルで送付してください。また、その際は容量に注意して下さい。

(2) 電子データの執筆上の注意事項

ア 共通の注意事項

(ア) 各行末に不要な改行 (Return, Enter) を入れないで下さい。段落の終わりにのみ改行を入れて下さい。

(イ) 字下げ (インデント) を行う項目がある場合は、インデントの機能 (Tab など) をお使い下さい。

(ウ) 段落の始めの行頭は全角で 1 字空けて下さい。

(エ) 機種依存文字、フォント依存文字、外字は使用しないで下さい。(例:丸数字や全角ローマ数字など)

(オ) 半角カタカナは使用しないで下さい。

(カ) 図、写真等のデータがある場合は、EPS(Encapsulated PostScript) 形式または BMP 形式、JPEG 形式、PNG 形式で提出して下さい。文書に挿入した画像については、できるだけ元の画像を別に添付して下さい。また、その際に縮小や不必要な圧縮は行わないで下さい。

イ ワードプロソフトを利用する場合の注意事項

(ア) 特殊なフォントはできる限り使用しないで下さい。

(イ) 数式は新規に組版し直します。あらかじめご了承ください。

ウ TeX による組版での注意事項

(ア) pLaTeX 2_ε をお使い下さい。

(イ) b5paper, 10pt を基本とします。

(ウ) 特殊なスタイルやパッケージを使用する場合は、明記して下さい。また、自作のスタイルファイルやパッケージを使用する場合は、原稿と一緒に送付して下さい。

8. 原稿の著作権

投稿された原稿の著作権（主に複製権および公衆送信権、二次著作物の利用に関する原作者の権利）は数学部会に譲渡されます。

また、他誌や Web 等にすでに公表してあるものや、他誌への重複投稿は御遠慮下さい。